

文部科学大臣 様

## 子どもたちの すこやかな成長と ゆたかな教育のために

2007年度から始まった「全国学力・学習状況調査(全国一斉学力テスト)」は、今年度から抽出調査になったものの、希望利用方式を採用したため73.5%の参加となりました。文部科学省は、「過度な競争につながらないよう」と言いつつ、結果公表を毎年おこなっています。そのため、学校では「テスト前対策」がおこなわれたり、点数をあげるための対策をせまられたりと、子どもたちをいっそう競わせるだけでなく、学校の教育のあり方までゆがめられています。さらに文部科学省が設置した専門家会議は「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方について」の中間まとめで、「対象教科を追加して実施」するとしています。これ以上学力テストの教科を増やしていけば、ますます競争を激化させることになり、子どもたちの成長・発達をはばむものとなります。

私たちは、教育現場に混乱をもたらす全国一斉学力テストに反対し、以下のとおり要請します。

# 「全国一斉学力テスト」の 中止を求めめる要請

### <要請事項>

**子どもと学校をいっそう競わせ、教育をゆがめる「全国一斉学力テスト」を中止してください。**

氏名	住所

取り扱い団体

全日本教職員組合(全教) / 教組共闘連絡会 / 子ども全国センター / 憲法・教育基本法全国ネット